

海外安全対策情報（平成27年度第4四半期（平成28年1～3月期））

1 社会・治安情勢

豪州は、2014年9月以降、国内のテロ警戒レベルを「中位（Medium）」から「高位（high）」（4段階のうち上から2番目）に引き上げ、現在も引き続き「高位」である。

2 一般犯罪・凶悪犯罪の傾向

（1）西豪州警察当局が発表した第4四半期（但しデータは、1月と2月のみ）の犯罪発生件数報告によれば、総犯罪発生件数月間平均は24,861件と前期（25,849件：10月～12月）と比較して微減している。重大犯罪の今期発生件数内訳は以下のとおり。

家庭内暴行	3,955件	（前期比	14.97%）
家庭外の暴行	2,064件	（同	-3.52%）
脅迫	1,368件	（同	12.62%）
住居侵入窃盗	4,803件	（同	-2.73%）
殺人	9件	（同	-51.79%）
窃盗	16,329件	（同	-0.88%）
強姦	346件	（同	-22.19%）
麻薬	5,418件	（同	-6.23%）
詐欺	2,806件	（同	-34.67%）

（2）邦人被害事案

3月初旬、カラマンダ郡マンダリン地区において、車中にハンドバックを置いたまま駐車。車に戻ったところ窓ガラスが割られ、ハンドバックがなくなっていた。

3 テロ・爆弾事件発生状況

現時点で、当地でのテロリスト・グループ等の活動に関する具体的な情報には接していないが、テロに関する一般的な警戒は必要である。

4 誘拐・脅迫事件発生状況

特異な事件は認知していない。

5 日本企業の安全に関わる諸問題

当地では一般的に対日感情は良好であり、現在までのところ日本企業の安全の脅威になる問題は認められない。なお、我が国のイルカ漁に反対する抗議活動等

が行われることもあり，右動向には注意を要する。

以上